

【別添】

農のあるまち袋井「2961スマート農業プロジェクト」

総務省 地域社会DX推進パッケージ事業（補助事業）

実施体制 （下線：代表機関）	袋井市、(株)インターネットイニシアティブ、(株)大和コンピューター、静岡県立農林環境専門職大学、静岡理工科大学、浜松ケーブルテレビ(株)、農業経営体（施設園芸・製茶・水稻）等	実施地域	静岡県袋井市
整備する通信インフラ	➤ Wi-Fi HaLow ➤ LPWA	主な補助対象機器等 ➤ 基地局・中継器等無線ネットワーク設備 ➤ カメラ・水位センサー等機器 ➤ ダッシュボード	目標 農業生産における作業省力化：20%減 新たにスマート農業に取り組む事業者：3件増
事業概要	静岡県袋井市では、メロン・茶・米を中心に多彩な農業が展開されているが、近年は高齢化に伴い農家・農業従事者が減少し、担い手の確保が急務。イノベーション展開を通じた農業基盤の強化が不可欠。また、デジタル技術を農業分野に加えて、市民生活で活用することで、社会変革や集落環境の改善につなげることが重要。農業の活性化は地域の活性化を促し、市民生活の質の向上にもつながる。 【事業】 施設園芸・茶・・・農業用ハウスや茶園のリモートセンシングによる省力化、病害虫対策 米・農業用施設・・・水田や農業用施設のリモートセンシングによる節水、省力化、初動対応 と、特性に合わせた無線ネットワークを整備し、農業分野における業務省力化と生産性向上を実現するとともに、農業以外の分野でもインフラ設備を活用できる仕組みを展開。 【体制】 「2961スマート農業ラボ」の体制により、事業を推進。行政と地域農家、民間事業者、大学が一体となり、リビングラボの手法を用いるなど、多くのステークホルダーを巻き込み、共創で取り組む。		

事業：2961スマート農業プロジェクト

施設園芸（メロン・野菜）



- ★収集データの特性に合わせて無線ネットワークを整備
- ★省力化・効率化→生産性向上を実現

IEEE 802.11ah
(Wi-Fi HaLow)カメラ映像
土壌センサー
温度センサー地域BWA
(既設)

LPWA

水位センサー

農業用施設（防災対策）

データ可視化
他業種共用

ダッシュボード

データ
分析
利活用

体制：2961スマート農業ラボ

袋井市、(株)IIT、(株)大和コンピューター、静岡県立農林環境専門職大学、静岡理工科大学、浜松ケーブルテレビ(株)、農業経営体等

- ・官民共創の推進体制
- ・多様な人材の発掘・活用
- ・官民連携のマッチング
- ・高齢農家デジタル活用支援
- ・コト消費（農業体験）
- ・農業体験学習

既存農業関係者

小中高生、大学生

新規農業関係者